

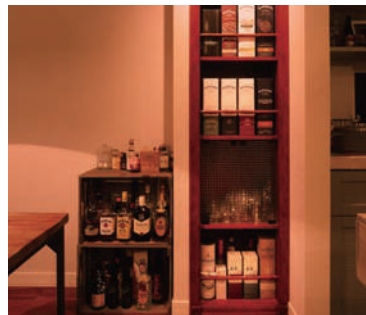
we design your home and life style. impression for life, to you.

家飲みの進化系

おうちバー、今宵も開店。

夜は長いから、ゆっくり語り飲む。

いろいろな秋があるけれど、大人の秋は、穏やかな時間が似合う。
忙しさを脱ぎ捨てて、好きな音楽をかけて、グラスを傾けましょうか。



バーカウンターで憧れを叶える

Nさま邸の広く明るいリビング。その一角にバーコーナーがあります。落ち着いたブルーの壁とグリーンガラスのカウンターが印象的なチャームな空間です。「主人は、おじいちゃんの家にあったバーカウンターに憧れていたそうです。自分の家を建てるときには、そういうスペースをつくらうと考えていたみたい」と、奥さまはバーカウンターをつくった理由を話してくれました。さまざまな種類のお酒が並ぶ棚は、ガラスの棚板が軽やかで、ガラススタイルの天板とマッチしています。壁の一部は鏡になっていて、空間にさらなる奥行きが生まれました。そこは、まるで美しいギャラリー。「うちにバーカウンターがあることを知っている友人たちが、手みやげにお酒を持ってきてくれることが多くなりました」。そう説明しながら、奥さまは、お薦めのボトルとグラスを用意します。ご夫婦のいまのお気に入りには芋焼酎。単身赴任中のご主人が帰宅すると、ふたりにお酒タイムを楽しみます。最近、リビングで飲むことが多いのだとか。おふたりの友人たちが遊びに来るときも、リビングがバーになり、おしゃべりに花を咲かせます。にぎやかだった夏が過ぎ、「秋の夜長は、バーカウンターでしっとりと過ごすのもいいですね」と奥さま。お気に入りのグラスに好きなお酒を注げば、おうちバー、開店です。



目指したのは、ご主人のおじいさまのバーカウンター。バーでも酒屋でもないけれど、いいお酒がそろっていた

ふたつの家族のバータイム

キッチンと土間をバーにする

5月、Hさまファミリーは新居に引っ越しました。いままでよりも広いキッチンには、シックなバーシェルフがあります。「壁一面にボトルを置いて、オーセンティックバーのようにしたかったけれど…」と、打ち明けてくれたのはご主人。「ちょっとだけわがままを入れてもらいました」と笑います。奥さまの反対にあったのかと思いきや、そんなことはなく、ご夫婦で仲良くおうちバーを楽しんでいるようです。夏のあいだは「ウッドデッキとバルコニーでビールを飲み、キッチンカウンターで飲み、ダイニングで飲み…と飲んでばかりでしたね」と、奥さまが笑顔で明かしてくれました。お酒は何でもいける口というご主人がこよなく愛しているのは、ウイスキー。好きが高じて「スコットランドのアイラ島にあるボウモア蒸留所まで行きました」。お土産に買ったというボウモアは、自慢のバーシェルフに並んでいます。バーシェルフから気分合ったお酒を選んで、グラスを用意すれば、家のあちこちがバーに早変わり。奥さまが「バーシェルフをつくって良かった。長くしたキッチンカウンターで一次会、ダイニングで二次会、土間スペースで三次会をしています」と言えば、ご主人は「将来的には土間にスピーカーを置いて、音楽を聴けるようにしたいですね」と夢を語ってくれました。まだまだ始まったばかりのHさまのおうちバーです。



食べながらビールやハイボールを飲み、そのあと強いお酒をゆっくり味わう。それが定番の週末の過ごし方だ

そろえておきたいのは
ウオツカ。ライムジュ
ースとジンジャーエ
ールを合わせれば「モ
スコーン・ミュール」になり、
オレンジジュースを入
れば「スクリュード
ライバー」になる。トマ
トジュースなら、「ブラ
ッディ・メアリー」だ。グラ
スの縁を塩で飾り、ウ
オツカとグレープフル
ーツジュースを注げば「ソ
ルティ・ドッグ」が完
成する。ラムを置いてお
けば、人気の高い「モ
ヒート」もできる。相手
を思う気持ちでカクテル
に込めてみてはいかがか。

シエーカーやミキ
ンググラスを使わ
ずにつくれるカク
テルがある。グ
ラスに材料を入
れるだけなら、
気軽に挑戦で
きそう。フル
ーツなどで
デコレーション
すれば、ぐっ
と本格的な一
杯になる。

夫婦でゆっくり話
したいとき、友人
たちを自宅に招
くとき、バーテ
ンダーを気取っ
てみるのはいか
がだろうか。お
うちバーは、よ
りバーらしくな
って、いつもと
違う時間が流
れる。

特別な日は
バーテンダー
になる



my sweet house

owner's interview

大家族が仲良く暮らす、 北欧テイストのデコ。

vol.10
owner
Iさま

ネコの動きやすさ、 人間の暮らしやすさ。

5月に完成したIさま邸には、ご夫婦と愛息ふたり、愛猫1匹、愛犬1匹が暮らしています。取材当日に生後百日を迎えた次男5ちゃんが生まれるのをきっかけに、家を建てることにしたそうです。目指したのは、「ペットと一緒に暮らしやすい家」。8歳になるネコのために、リビングの奥の部屋にキャットウォークをつくり、自由に部屋を行き来できるように壁には家型のキャットドアをつけました。興味深いのは、トイレの中にネコ用トイレを設置できるようにしたこと。片づけがしやすく、臭いも気にならず、快適な共同トイレになりました。

家族の集まるキッチン、 中心になるカウンター。

北欧テイストにまとめられたIさま邸。明るく広々としたリビング、ダイニングから眺めるキッチンの美しさに目を奪われます。「家の中で一番好きなポイントです」と奥さま。ブルーのアクセントクロスと木製の棚があたたかみを感じさせます。家族の中心にあるのは、キッチンカウンター。「慌ただしい朝はここで、夜はゆっくりとダイニングで食事をしようと考えていました。でも、カウンターで済ませてしまうことが多いです。落ち着いて家族団欒ができるようになるのは、次男がもう少し大きくなってからかな…」とご主人は話します。



「新しいおうち楽しい」と話してくれた長男Yちゃんは3歳。元気に遊んだあとは、キッチンカウンターでおやつタイムを楽しむ

いろんなモノの いろんな色。

白い塗り壁と木の床に合わせた色は、淡いブルーとやさしいグレー。「青色が好きなので、それを基調として色を決めました。室内だけではなく、2階の窓飾りシャッターも、ブルーです」と、奥さまがコーディネートのお話をしてくれました。ピアスのアドバイスを受け入れてよかったと思っているのは、リビングのドアの色。白い空間の中で、グレー系の落ち着いたトーンがアクセントになっています。玄関ホールのニッチには、グレイッシュなグリーンタイルを使用しました。その華やかさは、訪ねてくる人の目を引きつけます。

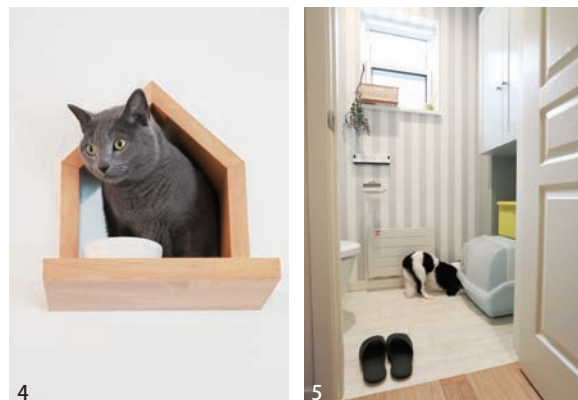
見た目に惹かれて、 外観をいつも磨く。

以前からインターデコハウスのかわいさに魅了されていたというおふたり。家を建てることになって調べたところ、ピアスにたどり着いたそうです。「任せておけば安心と思ったのは、希望をよく聞いたうえで、デザインでもコーディネートでも、合わないものは合わないとはっきり伝えてくれたからです」と、ピアスとの出会いを語ってくれました。「とにかく外観をきれいに保とうと、暇さえあれば草刈りをして壁を磨いています」とご主人が話せば、奥さまは「念願のバラを植えました。庭いっぱい咲くといいですね」と来年に夢を託します。



コーディネーター鈴木が語るIさま邸

ご夫婦の頭の中の完成イメージから、引き立たせたいところを意識して、少しだけ引き算してコーディネートしました。こだわりは色。異なる部材で同じ色味を出すために塗装屋さん塗り分けしてもらいました。



1.キッチン、ダイニング、リビングが一体となり、広々としている 2.玄関ホールのニッチ。お気に入りの雑貨を飾って、暮らしに彩りを添えている 3.愛犬てんちゃん。遊び盛りの1歳。来客を愛想よくお出迎えする 4.愛猫こけもちゃん。キャットウォークの最上階にあるリビングに向けたドアから家族を眺める。ペットと暮らすことを考えて、壁はクロスではなく、塗り壁にした 5.グレーと白のストライプがおしゃれなトイレは、人間とネコの共用スペース。キッチン側の壁にキャットドアをつけた

今回のsweet houseは <インターデコハウス>
INTER DÉCO HAUS

このブランドのコンセプトは、「わたしらしく」な家づくり。好きなものに囲まれて暮らせば毎日があわせと考え、好きを基準に空間をつくっていきます。かわいらしくデコラティブな家を理想としている方に好まれています。



ハコダテノ建テモノ

hakodate architecture spot

函館の名士・石館友作が期待した、 青年たちのために造られた建物。

函館の風景をつくっている建築物をマニアックに調査する！
今回は、「函館市公民館」、お話は館長の遠山 孝一さんです。

函館市公民館を建てたのは誰ですか？

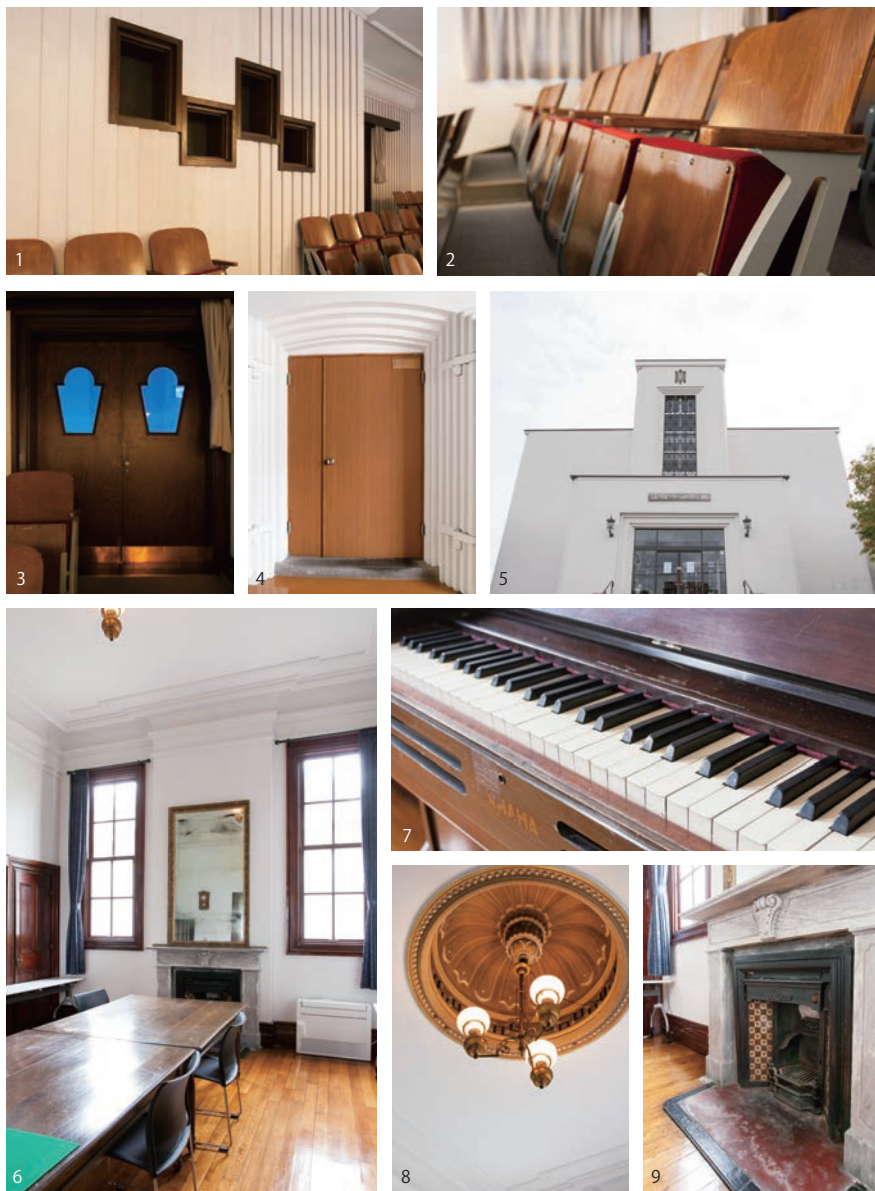
設計者は小南武一(こみなみ・ぶいち)です。大正時代の大火のあと、当時の市長が東京から招いた建築士で、鉄筋コンクリートの建造物に実績がありました。旧市立函館図書館の設計もしています。昭和8(1933)年10月、「函館市青年会館」として完成。公民館になったのは昭和22(1947)年です。



経済面でサポートしたのは、石館友作(いしだて・ともさく)。福山町(現在の松前町)で酒・味噌・醤油を製造する資産家の息子に生まれ、函館商工会議所の議員や北海道銀行の重役を務めた名士です。次世代を担う青年たちが、集会場所の建設を強く望みながら、資金に苦労していることを知って寄付します。約400坪の敷地、土蔵1棟、木造家屋1棟のほか、工事費も賄ったというから、すごいことですね。

建物の見どころはどこですか？

まず、講堂をご覧ください。ステージを彩るレリーフや座席シートは、当時のままのもの。昭和初期の空気をいまに伝えてくれます。いま事務所が入っている建物は、かつて蔵でした。平成26(2014)年の大改修のとき、2階の和室を取り壊して吹き抜けにしました。その裏手にあるのは、石館友作の自宅だった建物で、「石館ホール」と名づけられた洋間には、大壁鏡やベチカ、シャンデリア、オルガンなどが保存されています。



1. 講堂には、かつての映写室の名残がある 2. 3. 館内の至るところに、昭和の香りが残る 4. 事務所が蔵だったことをしのばせる 5. 講堂は、午前600円・午後1050円・夜間1200円で貸し出している 6.7.8.9.昭和32(1957)年、石館友作の遺徳に敬意を表して、石館ホールに残る調度品や装飾を大切に保存していくことが決定された

函館市公民館

竣工したものの、大火で焼失した函館地方裁判所として使用され、函館市青年会館として開館したのは昭和13(1938)年。終戦時は進駐軍の施設となり、昭和22年、函館市公民館として開館した。いま多くの市民が、講堂でピアノの発表会を開催したり、陶芸窯を利用している。所在地は函館市青柳町12-17(市電・宝来町電停下車、徒歩5分)、TEL0138-22-3320

ようこそ、beusな店へ

北海道の旬をイタリアンで、 夫婦が営む隠れ家レストラン。

La Cucina VENTITRE

閑静な住宅地にある名店VENTITRE。オーナーシェフの奥村博史さんは、大阪の調理師学校でイタリア料理を学び、専門店で修業を積んだ。ふるさとの函館に戻り、2008年に同店をオープンした。「味わってほしいのは、季節の食材を取り入れたメニュー」と奥村さん。おぐに牧場(北斗市)の小国美仁さんが育てた牛肉、よしもりまきば(せたな町)の大口義盛さんがつくるトマトなど、生産者の思いに共鳴して、その味に惚れ込んだ材料だけを厳選して使っている。奥さまが焼くフォカッチャとデザートもファンが多い。店舗は、築30年ほどの和風の民家を改装。もとの煙突を活かした薪ストーブを中心に、かしまりすぎずラフすぎない空間にした。家具は全てイギリスのアンティーク、アクセントの壁紙は草花がモチーフのウィリアム・モリスだ。紅葉、雪のもみの木、春のヤマザクラ、夏のブルーベリーが彩る庭もまたごちそうである。

SHOP DATA



La Cucina VENTITRE
(ラクチーナヴェンティトレ)

函館市柳町14-23
0138-31-7856

営業時間/12:00~14:00、18:30~22:00 ※予約優先
定休日/不定 駐車場/4台

■ CONSTRUCTION
ブランド: b-maison 施工: 2008年9月



[MENU]

昼/パスタセット1600円~。夜/コース料理3900円・5500円。
6000円以上は予算に応じて用意。 ※いずれも税別

ホビーのススメ



今回の推薦人
木村 唯

「神戸こむぎ館」のパンが私のランチの定番です



行きつけの店: 「パン研究所 神戸こむぎ館」

2016年11月、移転オープン。
店内には72時間低温発酵製のパンが
所狭しと並ぶ。
営業時間8:00~19:00、日曜定休、
☎0138-55-3825

hobby 10 : パン

だから、おすすめします！
つくる楽しさ、食べるうれしさ。

パンが大好きで、休日にはパン屋さん巡りをする
こともあります。よく行くのは「神戸こむぎ館」。社
会の斜め向かいにあるので、お昼のたびに通って
います。お気に入り、クリームチーズの入ったサ
ンドイッチ。シンプルな味

わいの塩パンやスイーツパンも好き。自宅では、バ
ゲットやカンパーニュなどハード系のものをよく食
べます。パンは、つくるのも好き。小学生のころ、
叔母がクロワッサンをつくるのを手伝ったのが最
初の記憶です。それから、母と妹2人と一緒によく
パンを焼きました。いまでも妹の焼くメロンパン
が好き。妹たちは、クリスマスケーキもつくりま
したよ。またパンを焼きたくなってきました。

みさおの玉手箱

今回の建物 / さざえ堂 (福島県会津若松市)

世界的にも珍しい二重螺旋の建築物をぐるぐる巡る

念願だった会津若松への旅。しかも、かつて会津藩を研究していた歴女との旅です！鶴ヶ城で堀内孝雄の「愛しき日々」を口ずさみ(古っ!)、白虎隊十九士の墓で涙し、藩校・日新館で什の掟の講話を聞きながら足をしびれさせ、伝統工芸品である会津慶山焼の特大豆ちよこを作ったりと、大忙しの2日間でした。

でも、忘れておりませんよ、建築魂!! 某雑誌の「建築家を選ぶ日本建築人気番付」で東の横綱となり、NHK特番で「世界の名建築100選」に選ばれた「さざえ堂」。江戸中期に建てられた、世界に例を見ない特異な二重螺旋構造。レオナルド・ダ・ヴィンチも二重螺旋のスケッチを残しているそうですが、建物として存在するのは、世界でこのさざえ堂だけ!! フォトジェニックな外観を堪能したあと、いよいよ中へ。正面から入り、右回りの急なスロープを上がります。多少の目眩がスリル感に拍車をかけます。頂上まで行くと、下りの左回りスロープに代わり、上りのスロープは通らずに建物の後ろ側の出口へとたどり着きました。郁堂和尚が庶民のために造ったそうで、昔は、西国三十三観音が収められていて、お参りすれば西国三十三所巡礼と同じ功德があるとされました。しかし、江戸時代にこの発想! この技術! オーマイガー! 興奮すぎて旅館で心霊写真を激写するというハプニングに見舞われましたが、「私たちが楽しそうだから、つつい出てきちゃったのね」と思うほど、楽しくて貴重な旅でした☆ (専務/森山 操)



正式名称「円通三匠堂(えんつうさんそうどう)」 1796年建立、1995年国指定重要文化財

暮らしとお金の専門家

FPに
FP
ファイナンシャル
プランナー
聞く

FP 奥田和彦さん



家がほしくて、教育資金を考える!?

出産を機に家を建て、住宅ローンの返済と教育資金の貯蓄に頭を悩ませる人は少なくないでしょう。教育資金の一つの柱は、学資保険です。毎月定額を積み立てて、高校や大学などの進学に備えます。注意してほしいのは、掛け金の総額より払い戻される金額が少ない商品もあること。たとえば外貨建ての保険の場合、日本円に換算して支払われるので、タイミングによっては数十万円の差が出てしまうことがあります。円高のときは、掛けた金額よりも少なくなってしまう可能性があるわけです。円安を待てばいいのですが、学費の納入時期は決まっているので、タイミングを合わせるのは難しい。外貨建ての保険は、利率が高くて魅力的ですが、リスクを忘れてはなりません。もう一つの柱は、奨学金。いまは一人暮らしの大学生の半数が奨学金を借りる時代です。返還していくのは楽ではない、でも進学したいという意志は、大学生活をより多いものにしたいと思います。



あおしま社長の

ことのは

代表取締役 社長
青島 康夫

神様の住まいを訪ねる篇: 参拝

“応接間”で対面するときの作法

神様の鎮座する本殿に対して、参拝する場所を拝殿といいます。家でいうと応接間でしょうか。ここで拝む前にやるがあります。一つはお賽銭。これは、神様へのお礼です。付け届けや願掛けの費用ではなく、感謝を表すもの。もう一つは、本坪鈴(ほんつぼすず)をガラガラと鳴らすこと。神様に来たことをお知らせするのです。参拝方法は、一般的に「二拝二拍手一拝(にはいには

くしゅ いっぱい)」とされています。「拝」とは、最上級の敬意を示すお辞儀のこと。中国から伝わった作法「礼」の一つです。上半身を90度に曲げる拝を二度おこない、拍手(かしわで)を二度打ち、最後に一拝。この正式な作法で、神様と対面したいものですね。kotonoha第2号から続いた神様シリーズは、これが最終回。次号から新シリーズが始まります。



株式会社 ビアス www.beus.jp

TEL 0120-56-0188
〒042-0942 函館市柏木町1-12
TEL0138-56-0555 FAX0138-56-0777

INTER DÉCO HAUS COZY

b.i.v HOMES b-maison
-ビー・メゾン-